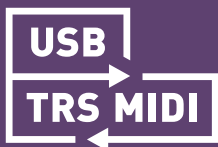


ULTRAVIOLET

— vintage vibe —

日本語ユーザーマニュアル



strymon®

もくじ

各部の名称と働き	3
フロントパネル・コントロール	3
リアパネルI/O & コントロール	5
モノ&ステレオI/Oケーブルの接続	6
パワーアップ・モード	8
Mono I/Oのバイパスモード	8
EXP/MIDI ジャックの設定	9
外部コントロール	11
エクスプレッションペダルの設定	11
フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード	12
外部タップモードのスイッチ設定	14
MultiSwitch PLUS使用時の本機の設定	16
MultiSwitch PLUSの使用	17
MIDI機能	18
MIDIを使用するための設定	18
MIDI モードでプリセットを保存する	23
MIDI スペシフィケーション	24
MIDI プログラムチェンジ	24
MIDI コンティニュー・コントロール	25
ファクトリーリセット	26
ファクトリーデフォルト・セッティング	27
主な特徴	28
スペシフィケーション	29
Appendix 1: サンプルセッティング	31
Appendix 2: パワーアップモード クイックリファレンス	33
使用上のご注意	35
Strymon 限定保証 (譲渡不可) に関する規定	36

各部の名称と働き

フロントパネル・コントロール

MODE/モード

3ポジションスイッチでウェット信号とドライ信号のミックスを選択します。

chorus：（左の位置）ドライ信号とウェット信号が50/50でミックスされており、最大限の深みとクラシックな「バィブ」エフェクトが得られます。

blend：（中央の位置）ドライ信号とウェット信号が70/30でミックスされており、深みを減らし、マイルドな効果が得られます。

vibrato：（右の位置）ウェット信号のみで、クラシックな周波数依存型の位相ビブラートエフェクトが得られます。

SPEED/スピード

LFOスイープレートを調整します。

FOOTSWITCH/フットスイッチ

エフェクトをオン/オフします。

エフェクトがオンになると、ペダル上部のLEDは**レッド**に点灯します。



NOTE：フットスイッチを2秒間長押ししてセーブモードに入ります。（[23ページ](#)をご覧ください）または、エクスプレッションペダルのパラメーターの割り当てを設定します。（[11ページ](#)をご覧ください）
オプションで、TAP または FAVORITE モード機能用に外部フットスイッチを設定できます。（[16ページ](#)をご覧ください）

ノブとスイッチ

フロントパネル・コントロール

LEDインジケーター

レッドに点灯して、エフェクトが作動していることを表示します。フットスイッチを使用してエフェクトをオン/オフします。また、パワーアップモード機能を設定するときには他の色にも点灯します ([8ページ](#)をご覧ください)。

BIAS/バイアス

3wayトグルスイッチは、さまざまなバイブ効果を引き出すLFOの中心点を設定します。

low : (左の位置) 低い周波数を中心にスイープして、パルス的なバイブ効果が生まれます。

mid : (中間の位置) バランスの取れたバイブ効果を得るためにスイープは最適化されています。

high : (右の位置) 高周波を中心にスイープして広範囲のバイブ効果を実現します。

INTENSITY/インテンシティ

LFO スイープの振幅を調整します。最小ではLFO振幅がゼロになりますが、BIAS設定によって決定される静的効果が生まれます。

VOLUME/ボリューム

ペダルの出力レベルを最大4dBブーストまで制御します。



リアパネル I/O & コントロール

I/O モードセクター

Mono: (左の位置) ギターなどのモノラル入力信号で使⽤します。

出力はモノラル、デフォルトはトゥルーバイパスです。

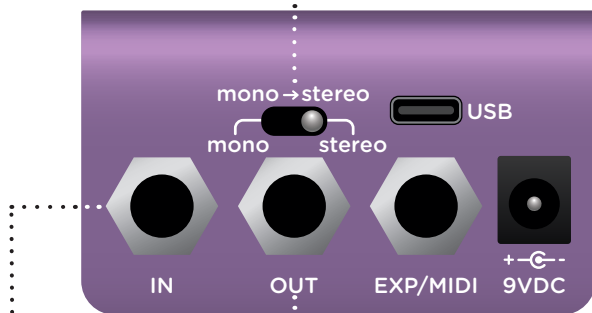
mono → stereo: (センター位置) モノラル入力信号で使⽤します。

出力はステレオ、バイパスモードはバッファードバイパスです。

Stereo: (右の位置) ステレオ入力信号で使⽤します。出力はステレオ、バイパスモードはバッファードバイパスです。

ステレオ I/O には、TRSアダプターまたはTRSケーブルが必要です。

(次の例を参照してください。)



IN

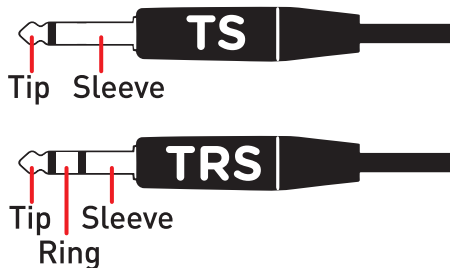
ハイインピーダンス、超低ノイズ、ディ
スクリートクラスA JFET TRSステレオ
プリアンプ。(TRSジャック)

OUT

ローインピーダンス TRSステレオ出力。
(TRSジャック)

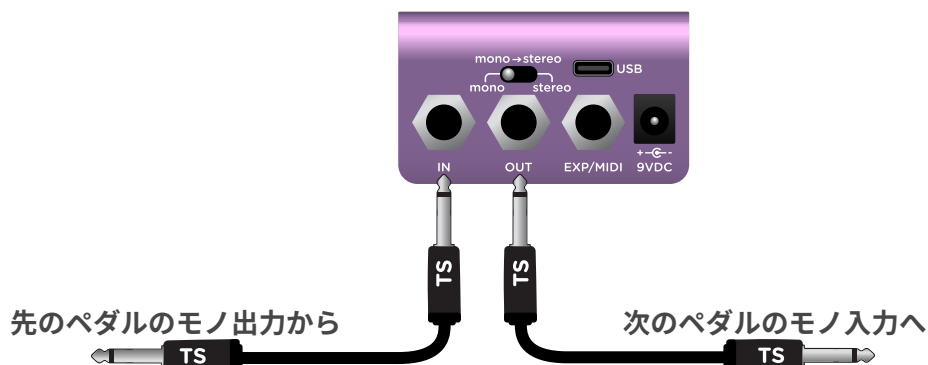
モノ&ステレオI/Oケーブルの接続

本機のIN&OUTジャックは、TSまたはTRSタイプの1/4”フーンケーブルでモノまたは、ステレオ接続します。

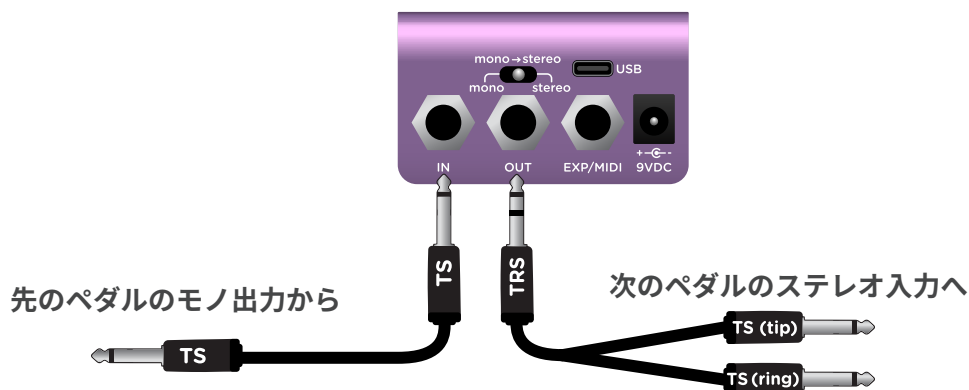


NOTE: TRSステレオ接続では、L信号はTip、R信号はRingを通過します。

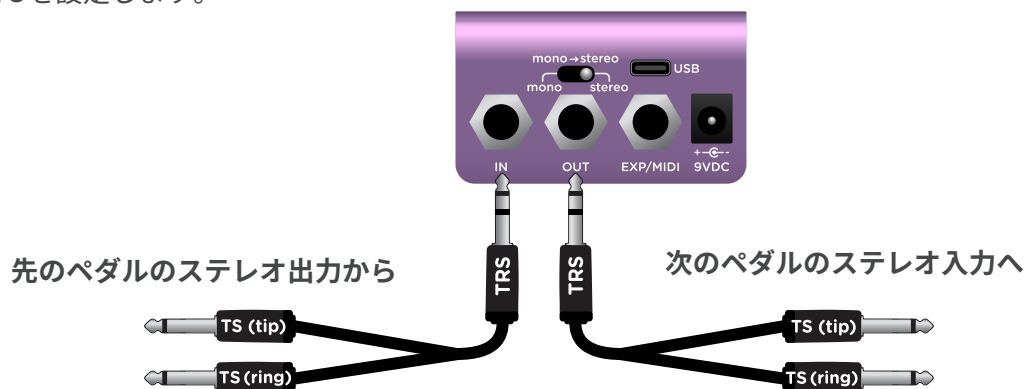
Mono In - Mono Out : 本機をモノ信号チェーンに接続するには、INとOUTの両端子にTSケーブルを使用します。I/Oセクタースイッチの設定はMonoにします。



Mono In - Stereo Out : 本機にモノ信号を入力するにはTSケーブルを使用し、INに接続します。TRS+デュアルTS ケーブルを本機のOUTに接続し、ステレオ信号をステレオペダルにルーティングします。I/Oの設定はセクタースイッチでMono→Stereoにします。



Stereo In - Stereo Out : 本機をステレオ信号チェーンに接続するには、TRS+デュアルTSケーブルを本機のINとOUTの両方に接続します。セクタースイッチをStereoにしてI/Oを設定します。



NOTE : TRS - TRSケーブルを使用してペダルを接続することもできます。（cloudburstのTRSステレオ入力に接続する場合など）

リアパネル I/O & コントロール

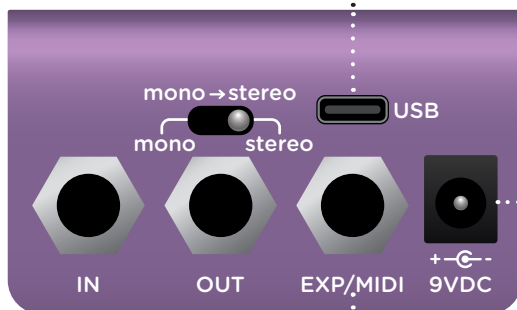
USB-C

MIDI I/Oやファームウェアのアップデートを行うためのコンピューター接続用ジャックです。

9VDC/DC9V

以下の仕様アダプターのみを使用してください。

- 2.1mm、センターマイナス
 - 9VDC
 - 最小250mA
- (アダプターは別売りです。)



EXP/MIDI

本機の外部制御用の多機能通信ジャックです。

以下のいずれかで動作するように設定できます。(詳細は[9ページ](#)の「EXP/MIDIジャックを設定する。」をご覧ください。)

- エクスプレッションペダルモード ([11ページ](#)をご覧ください。)
- フェイバリットモード ([12ページ](#)をご覧ください。)
- タップモード ([18ページ](#)をご覧ください。)
- MIDIモード ([16ページ](#)の「MultiSwitch Plusの設定」または、[23ページ](#)の「MIDIモードでプリセットを保存する。」をご覧ください。)

パワーアップ・モード

Mono I/O のバイパスモード

背面の **I/O モードセレクター** をモノラルに設定すると、本機はデフォルトのトゥルーバイパスに設定されます。 バイパスモードをバッファードに設定すると、ペダルチェーンや長いケーブルでの接続でも高域特性は損なわれません。

NOTE : 背面の **I/Oモードセレクト** を **モノ** にステレオまたはステレオに設定すると、バイパスモードは自動的にバッファードバイパスに設定されます。

- 1** フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- ② BIAS (BYPASS MODE)** スイッチを切り替えて、True または Buffered Bypass モードを選択します。スイッチを切り替えると LED の色が変わり、現在のステータスが表示されます。
- **True Bypass** (トゥルーバイパス) : スイッチを **low** (左の位置) に設定すると、LED は**グリーン**に点灯します。(デフォルト設定)。
 - **Buffered Bypass** (バッファードバイパス) : スイッチを **high** (右の位置) に設定すると、LED は**レッド**に点灯します。
- ③ フットスイッチ**を押してバイパスモードを保存し、本機の使用を開始します。

NOTE: バイパスモードの設定は、電源を入れ直しても維持されます。

パワーアップ・モード

EXP/MIDI ジャックの設定

- 1 フットスイッチを 2 秒以上長押ししながら電源を接続します。
レッド LED が点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **VOLUME (EXP/MIDI JACK)** ノブを回して、リアパネルの **EXP/MIDI** 端子の機能を選択します。ノブを回すと LED の色が変わり、現在のステータスを表示します。

- **Expression Pedal Mode** (エクスプレッションペダルモード) : **グリーン** (デフォルト設定、最小位置) — 標準 TRS エクスプレッションペダルを使用すると、どのノブに対しても連続的なコントロールが可能です。(詳細は [11 ページ](#)をご覧ください。)
- **Favorite Mode** (フェイバリットモード) : **アンバー** (11 時の位置) — Strymon MiniSwitch を使用すると、お気に入りの設定を呼び出すことができます。(詳細は [12 ページ](#)をご覧ください。)
- **Tap Mode** (タップモード) : **レッド** (1 時の位置) — Strymon MiniSwitch を使用すると、テンポを 4 分音符でタップすると LFO スピードが追従します。(ノート分割オプションについては、[4 ページ](#)の **FOOTSWITCH** の説明をご覧ください。)

パワーアップ・モード

EXP/MIDI ジャックの設定

- **MIDI Mode** (MIDI モード) : **ブルー** — Strymon Multi Switch PLUS や外部の MIDI コントローラーが使用できます。 - 詳しくは [16 ページ](#)をご覧ください。全 MIDI 機能は、Strymon Conduit または MIDI EXP ケーブルを使用し、1/4" TRS MIDI 接続を介して MIDI プログラムチェンジメッセージを送信することで利用できます。MIDI 経由で最大 300 のプリセットロケーションが利用可能です。 - 詳しくは [23 ページ](#)をご覧ください。



- ③ フットスイッチを押して EXP/MIDI ジャックモードを保存し、本機の使用を開始します。

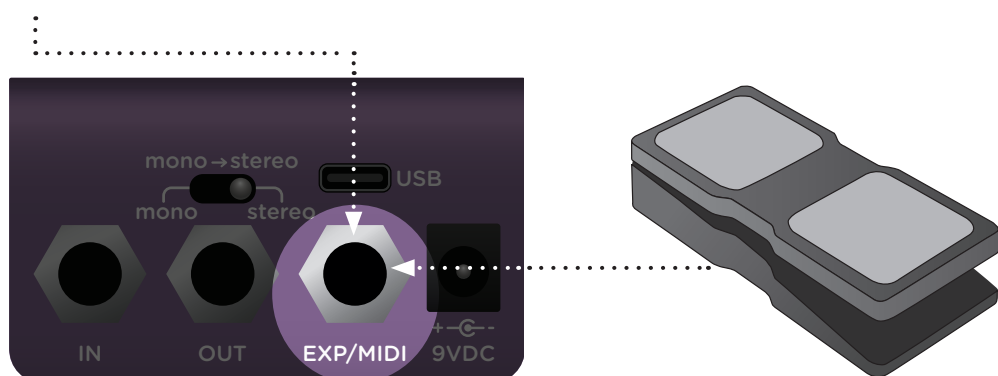
NOTE : EXP/MIDIジャックの設定は、プリセット毎には保存されません。電源を入れ直しても設定は維持されます。

外部コントロール

エクスプレッションペダルのセットアップ

TRS エクスプレッションペダルを使用し、本機のノブをリモートコントロールすることができます。デフォルト設定では、エクスプレッションペダルで **SPEED** ノブがコントロールできるように設定されています。

- ❶ EXP/MIDI ジャックを Expression Mode に設定します。(設定の手順は [9 ページ](#)をご覧ください。)
- ❷ TRS ケーブルを使用して、エクスプレッションペダルを **EXP/MIDI** ジャックに接続します。



- ❸ LED が**グリーン**に点滅するまで、フットスイッチを 2 秒以上長押しします。
- ❹ エクスプレッションペダルをヒール位置まで戻します。
グリーン LED の点滅が止まり、点灯に変わります。
- ❺ エクスプレッションペダルのヒールポジションでコントロールしたいノブ設定を行います。
- ❻ エクスプレッションペダルをトゥの位置に動かします。LED が**レッド**に変わります。
- ❼ エクスプレッションペダルのトゥポジションでコントロールしたいノブ設定を行います。
- ❽ 本機のフットスイッチを押してエクスプレッションペダルの設定を保存して終了します。

NOTE : エクスプレッションペダル設定の割り当ては、フェイバリット & MIDI プリセットごとに保存されます。

NOTE : 本機がMIDIエクスプレッションに応答するように設定されており、EXP/MIDIジャックがMIDIモードに設定されている場合は、MIDI CC#100を送信して0（ヒール）～127（トゥ）エクスプレッションペダルのセットアップが実行できます。

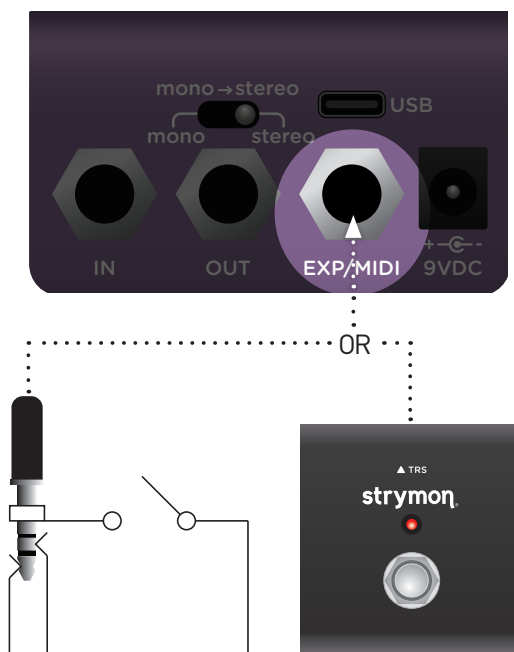
外部コントロール

フェイバリットスイッチの設定とコンペアモード

フェイバリット設定を保存&呼び出すために、MiniSwitchまたはその他の外部ラッチ式フットスイッチをTRSケーブルで接続します。

NOTE: strymon MiniSwitchの内部ジャンパーをファクトリー・デフォルトの**FAV/BOOST**モードにして使用します。内部ジャンパーの設定を変更した場合、FAV/BOOSTモードに戻してください。（[14ページ](#)をご覧ください。）

- ① **EXP/MIDI** ジャックをフェイバリットモードに設定します。（詳細は[9ページ](#)をご覧ください。）
- ② MiniSwitch（または外部ラッチ型スイッチ）をTRSケーブルで**EXP/MIDI**ジャックに接続します。



- ③ 好みのサウンドをダイヤルインします。
- ④ サウンドを新しいフェイバリット設定として保存するには、LEDが**グリーン**に点滅するまで少なくとも2秒間フットスイッチを押します。次に、フェイバリット設定を保存するためにLEDが**ブルー**に点灯するまでフットスイッチを押し続けます。外部フットスイッチを踏んで、現設定とフェイバリット設定を切り替えます。必ず別のセッティングをダイヤルインしてください。フェイバリット設定とそれ以外の設定音で違いを聞くことができます。

外部コントロール

フェイバリットスイッチ セットアップ&コンペアモード（続き）

コンペア・モード

フェイバリットまたはMIDIプリセットが呼び出された状態で、ノブまたはスイッチと現在のノブまたはトグル位置が保存された設定と一致すると、LEDが**グリーン**に点滅します。

NOTE: パワーアップモードの設定はグローバルに適用され、プリセット毎には保存されません。

NOTE: MIDIを使用する場合、プリセットの保存の動作は異なります。（詳しくは[18ページ](#)をご覧ください。）

NOTE: フェイバリット設定は、MIDIプログラムチェンジの「0」に保存されます。

外部コントロール

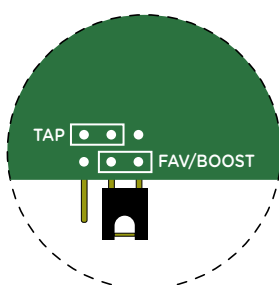
外部タップモードのスイッチ設定

Strymon MiniSwitchまたは外部のアンラッチ (モーメンタリー) タイプのスイッチを使用して、本機のタップテンポが入力できます。これでLFOにシンクして外部からテンポが入力できます。

Strymon MiniSwitchの内部ジャンパースイッチを**FAV/BOOST**にして本機のTap Modeを使用します。MiniSwitchのジャンパースイッチを設定するには、次の手順で行います。

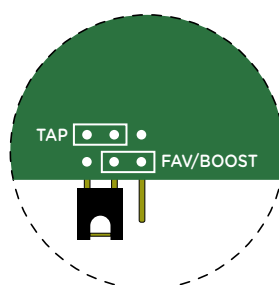
- 1 MiniSwitchのシャーシ底部にある4本のネジを外します。
- 2 ボトムシャーシを開いたら、基板の下にある小さなジャンパーを中央と右のピン (FAV/BOOSTモード) から中央と左のピン (TAPモード) に変更してください。

MiniSwitch 回路基板のジャンパースイッチの拡大図



FAV/BOOST モード

本機のフェイバリットスイッチモードの場合は、ジャンパーを右2つのピンに配置してください。(MiniSwitchは工場出荷時の設定です。)



TAPモード

本機がタップ・モードの場合は、Mini switchの内部ジャンパーを左2つのピンに配置します。

- 3 ジャンパーの設定が完了したら、MiniSwitchのカバーをしっかりと取り付けてください。
- 4 本機のEXP/MIDIジャックをタップモードに設定します。(詳細については、[9ページ](#)をご覧ください。)
- 5 MiniSwitch (またはオプションでTRSケーブル付きモーメンタリースイッチ) をEXP/MIDIジャックに接続します。

外部コントロール

外部タップモードのスイッチ設定

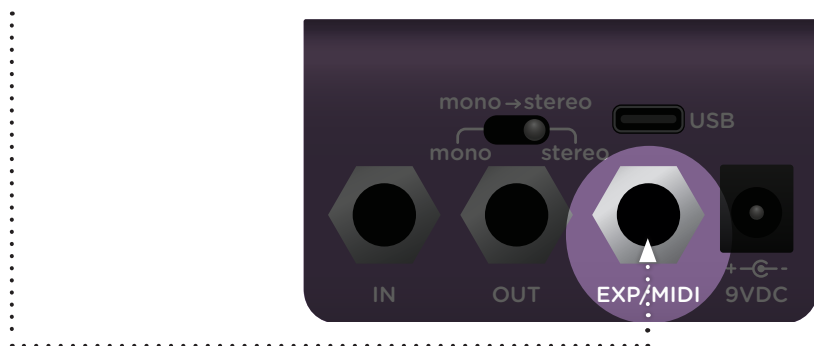


- ⑥ Mini Switchで希望のテンポに合わせて4分音符でタップすると、本機のLFO SPEEDがそれに追従して調整されます。

MultiSwitch PLUS 使用時の本機の設定

本機とMultiSwitch Plusのコンビネーションで、追加機能にアクセスできます。

- ① フットスイッチを2秒以上長押ししながら電源を接続します。
LEDが点滅したらフットスイッチを離します。
- ② **SPEED**ノブを反時計回りいっぱい回して、**MIDIチャンネル**をチャンネル1に設定します。LEDは**グリーン**に点灯します。
- ③ **INTENSITY**ノブを回して、次の**MIDIオプション**から1つを選択します。
 - ・ MIDI CC、他のデータを送る：**グリーン**
 - ・ 他のデータを送る：**アンバー**
- ④ **VOLUME**ノブを時計回りに回しきって、**EXP/MIDI**ジャックをMIDIモードに設定します。LEDは**ブルー**に点灯します。
- ⑤ UltraVioletのフットスイッチを押して、**MIDIチャンネル**、**MIDI出力設定**、および**EXP/MIDI**ジャックモードを終了&保存します。
- ⑥ TRS ケーブルを UltraViolet の **EXP/MIDI**ジャックに接続します。



- ⑦ MultiSwitch Plusの**A**フットスイッチを押したまま、TRSケーブルのもう一方の端を3つのジャックのいずれかに接続します。**A**フットスイッチを放すと、MultiSwitch Plusの3つのLEDが**グリーン**に点滅します。



外部コントロール

MultiSwitch PLUS の使用

MultiSwitch PLUSを使用して、本機のプリセット選択/保存をします。



NOTE : MultiSwitch Plusのフットスイッチ A、B、および C は、MIDI プログラムチェンジ1、2、および3に対応します。

- ① 点灯していないスイッチを踏むと、それに対応するプリセットが呼び出されます。
- ② 点灯しているスイッチを踏むと本機はバイパスされます。

MultiSwitch Plusで本機のプリセットを保存する

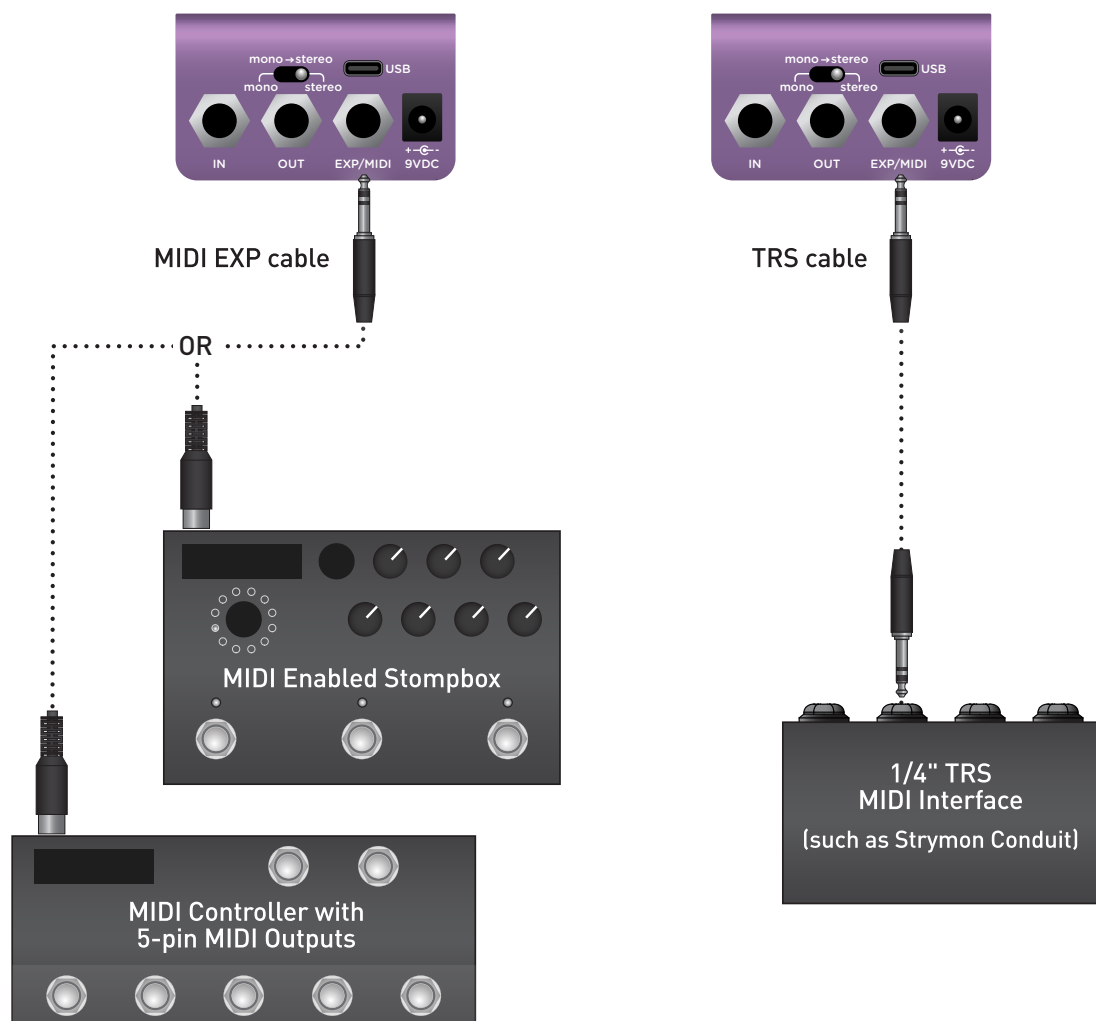
- ① 保存したい本機のサウンドをダイヤルインします。
- ② LED が**グリーン**に点滅するまで、本機のフットスイッチを2秒以上長押しします。
- ③ MultiSwitch PlusのA、B、またはCフットスイッチを押して、ペダルの設定を任意の場所に保存します。

MIDI 機能

MIDI を使用するための設定

MIDIを使用すると、**EXP/MIDI**ジャックに接続されたMIDIコントローラーまたはインターフェースを接続&使用して、本機の300プリセットロケーションの中から任意のプリセットを選択することができます。この機能には、Strymon MIDI EXPケーブルまたは、Strymon Conduitなどの少なくとも1/4インチ出力を備えたMIDIコントローラー/インターフェースが必要です。

NOTE : Strymon MIDI EXP ケーブルを使用する場合は、MIDI OUTモードをオフに設定する必要があります。（詳細は[22ページ](#)をご覧ください。）



MIDI 機能

MIDI を使用するための設定（続き）

ステップ1 – EXP/MIDIジャックをMIDIモードに設定する

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら電源を接続します。
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **VOLUME（EXP/MIDIジャック）** を時計回りいっぱいに戻してMIDIモードを選択します。LEDは**ブルー**に点灯します。

NOTE： MIDIデータは、EXP/MIDIジャックのTRS接続のTIP（チップ）で受信されます。

MIDI 機能

MIDI を使用するための設定（続き）

ステップ2 - MIDIチャンネルの設定



- ③ **SPEED (MIDI CHANNEL)** ノブを回して、MIDI通信チャンネルを設定します。LEDはステータスを表示します。ノブの設定位置は次のとおりです。

- チャンネル 1：**グリーン**（デフォルト、最小位置）
- チャンネル 2：**アンバー**（10時の位置）
- チャンネル 3：**レッド**（12時の位置）
- チャンネル 4-16：**ブルー**（最大位置） - 次に受信したMIDI プログラムチェンジメッセージで設定します。1/4” MIDI接続が必要です。

LEDが**ブルー**に変わり、ペダルがMIDIプログラムチェンジメッセージを受信するまで点滅します。メッセージを受信すると、ペダルはメッセージを送信したMIDIチャンネルに設定され、パワーアップ・モードを終了して本機の使用を開始できるようになります。

（MIDIチャンネル4～16を正常に設定完了した場合は、次のページの項目④をスキップできます。）

MIDI 機能

MIDI を使用するための設定（続き）

ステップ2 – MIDIチャンネルの設定（続き）



- 4 フットスイッチを押して終了し、MIDIチャンネル設定を保存して本機の使用を開始します。

NOTE : MIDIコミュニケーションの状態をチェックするには、フットスイッチがバイパスの時にCC#102で127のバリューを本機へ送ります。MIDI接続と設定が正しければ、フットスイッチがオンになります（LEDが**レッド**に点灯します）。

NOTE : Strymon MIDI EXPケーブルを使用して本機へデータを送信するだけの場合は、必ずMIDI OUTモードを**オフ**にしてください。（MIDI OUTモードの設定については、[22ページ](#)をご覧ください。）

NOTE : MIDI チャンネルの割り当ては、フェイバリット設定またはMIDIプリセット毎には保存されません。

MIDI 機能

MIDI を使用するための設定（続き）

ステップ 3 – MIDI OUTモードの設定

- 1 フットスイッチを 2 秒以上押し続けながら電源を接続します。
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 **INTENSITY (MIDI OUT)** ノブを回して、本機から他のMIDIデバイスに送信するMIDIデータの種類を選択します。LEDが一瞬点滅して選択内容を表示します。
 - **OFF** : **レッド**（デフォルト、最小位置） - 本機からMIDIメッセージは送信されません。
 - **THRU** : **ブルー**（11時の位置） - 受信したMIDIメッセージは、本機によって生成された追加のMIDIメッセージなしでMIDI OUTに送信（出力）されます。
 - **SEND CC, OTHER** : **グリーン**（1時の位置） - 本機によって生成されたMIDI CCおよびSysexメッセージがMIDI Outから送信（出力）されます。
 - **SEND OTHER** : **アンバー**（最大位置） - 本機によって生成されたSysexメッセージがMIDI Outに送信（出力）されます。

- 3 フットスイッチを押してMIDI OUTモードを保存し、終了します。

NOTE : MIDIデータは、**EXP/MIDI**ジャックのTRS接続の**RING**から送信されます。

MIDI 機能

MIDI モードでプリセットを保存する

MIDIモードでは、現在の設定を本機の300のプリセットのいずれかにいつでも保存することができます。

- 1 フットスイッチを2秒以上長押ししてセーブモードに入ります。LEDは**グリーン**に点滅し、本機がMIDIプログラムチェンジメッセージを受信できる状態になります。



- 2 ペダルの状態を現在のプリセット位置に保存するには、LEDが**ブルー**になるまでフットスイッチを2秒以上長押しします。



ペダルの状態を任意のプリセット位置に保存するには、本機が現在選択しているMIDIチャンネルに対してMIDIプログラムチェンジを送信します。

例えば：

- MIDI Program Change #10を送信して、プリセットをペダルの対応するメモリー位置に保存します。
- 保存したプリセットを呼び出すには、MIDIコントローラーまたはシーケンサーからMIDI ProgramChange#10を送信します。

MIDI スペシフィケーション

MIDI プログラムチェンジ

本機には、0～299まで順番に番号が付けられた300個のプリセットロケーションがあります。MIDIプログラムチェンジメッセージは、最大数128（0-127）であるため、プリセットは3つのMIDIパッチングにグループ分けされます。

MIDI パッチバンク

- MIDI BANK 0** = プリセット 0-127
- MIDI BANK 1** = プリセット 128-255
- MIDI BANK 2** = プリセット 256-299

- MIDIプログラムチェンジ0** FAVセッティング（詳しくは[12ページ](#)をご覧ください。）
- MIDIプログラムチェンジ1** MultiSwitch Plus フットスイッチ 1
- MIDIプログラムチェンジ2** MultiSwitch Plus フットスイッチ 2
- MIDIプログラムチェンジ3** MultiSwitch Plus フットスイッチ 3
- MIDIプログラムチェンジ127** マニュアルモード（ノブ）

NOTE：一部のMIDIアプリケーションやコントローラーは、MIDIプログラムチェンジを「1」からスタートします。このような場合は、MIDIプログラムロケーションを1つ上げてください。

本機は常にMIDIパッチバンク0で起動しますので、最初の127のプリセット内で使用する場合は、標準のMIDIプログラムチェンジメッセージを送信してプリセットを読み込むことができます。

MIDIバンク1と2、もしくは1か2を使用する場合は、各MIDIプログラムチェンジの前に標準のMIDIバンクチェンジメッセージ（MIDI CC#0、値はMIDIバンク番号と同じ）を送信することをお勧めします。

MIDIバンク0、1、または2でプログラムチェンジ127を選択すると、本機はマニュアルモードになります。このモードでは、本機は現在のノブやスイッチの設定に戻ります。このプリセット位置にプリセットデータを保存することはできません。

MIDI スペシフィケーション（続き）

MIDI CCs

CC#	PARAMETER	RANGE	ENUMERATION
0	Bank Select	0-2	(0=Bank 1, 1=Bank 2, 3=Bank 3)
11	Mode	1-3	(1=chorus, 2=blend, 3=vibrato)
12	Bias	0-127	(1=low, 2=mid, 3=high)
13	Speed	0-127	
14	Intensity	0-127	
15	Volume	0-127	
27	Footswitch	0, 127	(0=release, 1-127=press)
60	MIDI Expression Off/On	0, 127	(0=off, 1-127=on)
93	Tap	0, 127	(any value)
100	Expression Pedal	0-127	(0=heel, 127=toe)
102	Bypass/Engage	0, 127	(0=bypass, 1-127=engage)

NOTE : すべてのオン/オフパラメーターは、0=オフ、その他の値（1～127）=オンとして実装されています。しかし、MIDIコントローラーの多くはオン/オフスイッチとして0と127を送信するため、これらは「0」と「127」として記載されます。

NOTE : 一部のMIDIアプリケーションおよびコントローラーは、MIDI列挙を「0」ではなく「1」から始めます。このような場合は、表の数値を1つ上げてください。

ファクトリーリセット（工場出荷時の設定へリセットする）

ファクトリーリセットを実行すると、ペダルが工場出荷時のデフォルトのパワーアップ機能に復元され、保存されているすべてのプリセットは工場出荷時のデフォルト設定に置き換えられます。

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら電源を接続します。
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。



- 2 再度フットスイッチを長押ししたまま**INTENSITY (FACTORY RESET)** ノブを最小～最大まで2度回します。ノブを回し切るあたりでLEDの色が変わり、リセットが行われている際には**レッド**に点滅します。

- TURN1、最小～最大まで：アンバー
- TURN2、最大～最小まで：レッド
- TURN3、最小～最大まで：アンバー
- TURN4、最大～最小まで：すぐにフットスイッチを離します。LEDが**レッド**に点滅し、本機がリセットされて再起動します。

ファクトリーリセット（続き）

ファクトリー・デフォルト・セッティング

FEATURE		FACTORY DEFAULT SETTING	
Bypass Mode:		True Bypass	
EXP/MIDI Jack:		Assigned to Expression Mode and configured to control the SPEED knob	
MIDI Channel:		1	
MIDI OUT Mode:		Off	
MIDI Expression:		On	

主な特徴

- Speed、Intensity、Volumeのクラシックな「バイブ」コントロールを採用しました。
- 3つの異なるウェット/ドライミックスで、周波数の変化と深さが異なる「バイブ」が選べます。
- 3つのバイアスモードがレンジの異なる「バイブ」体験をお届けします。
- エクスプレッションペダル機能により、任意のノブを任意の方向に連続的に制御できます。
- 外部スイッチによるLFOスピードのタップテンポ同期が可能です。
- ステレオインーステレオアウト（TRS入出力ではない機器との接続は、各ジャックに「TRS - dual TS」アダプターまたはケーブルが必要です。）
- トゥルーバイパス（電磁リレースイッチング）またはバッファードバイパスが選択できます。
- EXP/MIDI入力は、TRSエクスプレッションペダル、Strymon MiniSwitch、MultiSwitch PLUS、TRS MIDIが接続可能です。
- ハイインピーダンス超低ノイズClass-A JFETプリアンプ入力
- MIDI CCs、MIDIクロック同期、300プリセットロケーションのフルMIDI機能をサポートします。
- ファームウェアの更新が可能なUSB-Cジャックを搭載。
- +10dBu最大入力レベルが楽器からラインレベルの広い信号への対応を可能にしました。
- 高性能520MHz ARMスーパースカラープロセッサを採用。
- 32ビット浮動小数点演算
- 超低ノイズ、高性能A/DおよびD/Aコンバーター
- 堅牢軽量なアルミシャーシ
- Designed and built in the USA

スペシフィケーション

入カインピーダンス	1 Meg Ohm
出カインピーダンス	100 Ohm
A/D & D/A	24-bit 96kHz
最大入力レベル	+10 dBu
S/N	116 dB typical
バイパススイッチング	トゥルーバイパス(リレースイッチング)
サイズ	(D) 11.4 cm x (W) 4.3 cm x (H) 5.6 cm

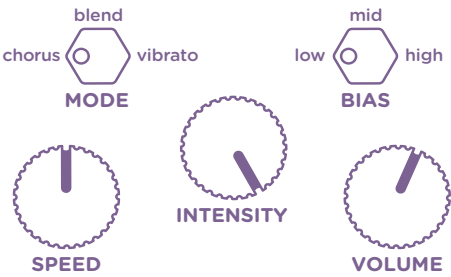
電源アダプター規格

9VDCセンターマイナス、250mA以上のアダプターを使用してください。9Vより高い電圧の電源に接続しないでください。アダプターは付属されていないので、別途ご購入ください。

Appendix 1 : サンプルセッティング

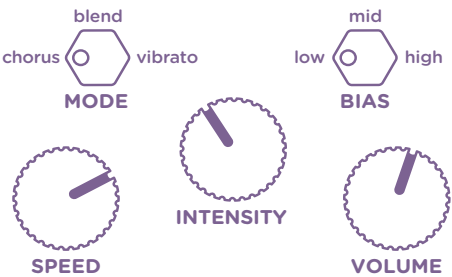
サンプルセッティング

—— Jimi From Texas ——



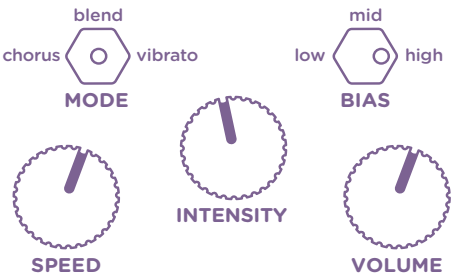
MIDI Program Change 0
MiniSwitch Favorite

—— Clean Arpeggios ——



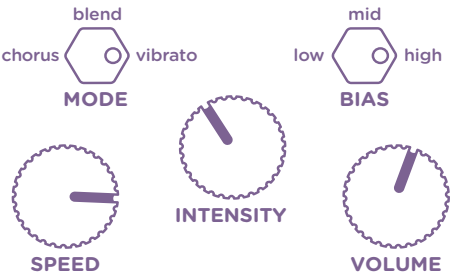
MIDI Program Change 1
MultiSwitch Plus A

—— Rootsy Wobble ——



MIDI Program Change 2
MultiSwitch Plus B

—— Marvin's Martian ——



MIDI Program Change 3
MultiSwitch Plus C

Appendix 2 : パワーアップモード クイックリファレンス

パワーアップモード - クイックリファレンス

グローバルパラメーターとその機能には、電源投入手順によってアクセスできます。
すべてのパワーアップ機能は、電源を入れ直しても維持されます。

- 1 フットスイッチを2秒以上押し続けながら本機の電源を入れます。
LEDが**レッド**に点滅したらフットスイッチを離します。
- 2 以下のコントロールで必要な機能を調整します。
- 3 フットスイッチを押して変更を保存し、パワーアップモードを終了します。

POWER UP MODE	OPTIONS
バイパスモード モノ I/O 図を用いた説明は 8 ページ をご覧ください	BIAS スwitchをセットして行います。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • トゥルーバイパス: スwitch Low (左の位置) または mid (センター) ポジション LED グリーン (デフォルト設定) • バッファードバイパス: スwitch High (右) ポジション LED レッド
EXP/MIDI ジャック モード 図を用いた説明は 9 ページ をご覧ください	VOLUME ノブを回して設定したいモードを選びます。ステータスは LED で表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • Expression/ エクスプレッション: グリーン (デフォルト設定、最小位置) • Favorite/ フェイバリット: アンバー (11 時の位置) • Tap/ タップ: レッド (12 時の位置) • MIDI: ブルー (最大位置)
MIDI チャンネル 図を用いた説明は 20 ページ をご覧ください	SPEED ノブを回す。ステータスが LED に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • 1: グリーン (デフォルト設定、最小位置) • 2: アンバー (10 時の位置) • 3: レッド (12 時の位置) • 4 - 16: ブルー (最大位置、次に受信した MIDI プログラムチェンジメッセージによって設定されたチャンネル。)

NOTE: プリセット毎にペダルの機能を設定する場合は、[11 ページ](#) の「エクスプレッションペダルのセットアップ」をご覧ください。

パワーアップモード - クイックリファレンス (続き)

POWER UP MODE	OPTIONS
MIDI OUT モード 図を用いた説明は 22 ページ をご覧ください	INTENSITY ノブを回す。ステータスが LED に一時的に表示されます。 <ul style="list-style-type: none"> • OFF : レッド (デフォルト設定、最小位置) • THRU : ブルー (11 時の位置) • ON CC, OTHER : グリーン (1 時の位置) • ON OTHER : アンバー (最大位置)
ファクトリーリセット 図を用いた説明は 26 ページ をご覧ください	フットスイッチを押したまま、 INTENSITY ノブを 0% から 100% まで 2 回戻します。LED にステータスが表示されます。

使用上のご注意

▲ 警告：安全のため、特に注意していただきたいこと

1. 異常があるときは電源プラグをコンセントから抜いて、ご購入先もしくは、弊社迄ご連絡下さい。異常な音がしたり、煙が出て異臭がした時などは、電源プラグをコンセントから抜いて下さい。
2. 電気ショックを避けるため、本体を絶対に開けないで下さい。本機は、高電圧が発生しているため危険です。内部に触ると感電する恐れがあります。内部の調整や修理は、弊社にご依頼下さい。また、火事や感電を避けるために、湿度が非常に高い場所に置いたり、雨天の際に野外で使用することは避けて下さい。

▲ 警告：次のような場所での使用は出来る限り避けて下さい。

- 湿度の非常に高い場所
- 砂やほこりが多い場所
- 台所、バスルーム、湿気の多い地下室など、水のかかりやすい場所
- 空気の循環を妨げる場所、ヒーターの近くなど、温度が高い場所

Strymon 限定保証（譲渡不可）に関する規定

保証について

Strymon は、正規 Strymon ディーラーから購入された場合、その製品と製品中のコンポーネントが、購入日から次の期間、材質および製造上の欠陥がないことを保証します。

製品保証が1年間となる製品

第一世代のペダル・・・blueSky、El Capistan、Flint、Lex、Deco、DIG
Brigadier、OB.1、Ola、Orbit、TimeLine、Mobius、BigSky

製品保証が2年間となる製品

上記以外のエフェクトペダル、ユーロラックモジュール、パワーサプライ製品、MIDI インターフェイス

※ 付属品のパワーサプライ、および、MIDI ケーブルアクセサリーについては、初期不良の場合のみ製品保証を適応させていただきます。

保証期間内に製品が故障した場合、Strymon 日本総代理店株式会社HotoneJapanが、最初の購入者に限り無償で修理、または当社の裁量により製品を交換いたします。また、本保証を最初の購入者以外へ譲渡することは出来ません。

免責事項

この保証は、ユーザーマニュアルに記載されている推奨の使用方法に従って、Strymon 製品を使用中に発見された製造上の欠陥を対象とします。この保証は紛失や盗難には適用されません。また、誤用、不正な改造、不適切な保管、落雷、または自然災害によって引き起こされた損害にも適用されません。上記の状況によって生じた損傷は、保証対象外の修理料金が発生する場合があります。

非正規販売店や海外から購入された製品は、この保証の対象外となります。保証は譲渡不可であり、中古品または譲渡された製品には適用されません。

保証範囲

故障の場合は、前項の通り、修理または交換の対応のみとなります。株式会社HotoneJapanは、本製品の故障に起因するいかなる損害に対しても一切の責任を負いかねます。保証外の損害には、逸失利益、逸失貯蓄、他の機器への損害、および本製品の使用または使用不能から生じる付随的または派生的損害等が含まれますが、この限りではありません。いかなる場合においても、当社は、製品の市場想定価格を超えない範囲で保証対応し、それを超える保証に関する責任を負いません。